

STAY+CAFE ENTO の人



代表 岡野涼子さん

ここをいろんな地域の人々が「学ぶ」ことのできる場所にしていきたい。教育欲が満たされることで1番日田に人を増やすことに繋がると思っている。新型コロナウイルスの影響で今はできていないが、落ち着いたら常時イベントを開いて、日田の情報発信を多くの人にしていきたい。



きます。落ち着いた空間で昼はランチやドリンクを、夜はお酒等を楽しみながらいろいろな人と交流することができません。また、観光や飲食店の案内など、観光客へのコンシェルジュとしての役割や、場所を選ばない自由な働き方として、九州アイランドワークと連携し、宿泊付きコワーキングスペースを設けています。日田を拠点に九州圏域の仕事ができ、各地をつなぐ拠点となる「九州のHUB」としての役割を目指しています。



▲この看板が目印

日田駅1階の自動販売機横が目印！階段を上って新しい場所へ

日田駅に
新しい交流の場

STAY+CAFE
ENTOがオープン

☕ カフェ&バー	午前11時～午後11時
📧 コワーキングスペース	午前10時～午後3時
🏠 ゲストハウス	宿泊料金 3,300円～/泊 チェックイン 午後3時～8時 チェックアウト 午前10時

☎ 5701

※新型コロナウイルス感染症の影響によって時間に変更になる場合があります。詳細は上記にお問い合わせください。



日田の魅力を高める発想を一緒に考えよう

現在、JR日田駅2階や駅前広場は「駅周辺に住住する人や訪れる人のリビング」「日田の玄関口としての情報が得られる場所」「多種多様な人が交流情報が発信される場所」といった目的で活用されています。このような**公共空間の活用を増やしていくこと**が、日田のまちとしての魅力を高めていく一つの方法で、それがスタートしたところです。市民の皆さんが感じている「この部分を変えたら、もっと良くなるのに」「こんなことができないかな」と

いつものヒントとなり、**新たな発想として新しい「まちづくり」**になります。そして、行政と共に市民の皆さんもこれからの日田市の魅力を高めるために「**協働のまちづくり**」をしていくことが重要になっていきます。

この先、魅力が続ける日田にしていくことができるのは、日田に住んでいる自分たち次第です。日田市の抱える様々な課題について、行政と市民の皆さんで共に考え、まちづくりを行うことがエリアの価値を高め、より魅力的な「日田づくり」の一步となります。

民間事業者による投資で日田駅に新しい交流の場が誕生！

民間主導のまちづくりを進めるため、長年空きスペースとなっていたJR日田駅舎2階の一部、約210㎡をJR九州から市が借り受け、公募によって運営業者に決定した(株)ENTOと賃貸借契約を締結し、3月にSTAY+CAFE ENTOがオープンしました。

九州管内でも珍しい駅舎を使用した取り組みのJR日田駅舎2階の活用にあたっては、「地域のために協力したい」と

いうJR九州から物件を借り受け、「日田の賑わいの拠点となる施設を作りたい」という(株)ENTOが約1500万円を投資して施設を改修し、運営を行っています。

日田産の素材を使った家具や食器を実際に使用できる「日田のショールーム」としての活用を目指しており、カフェと宿泊施設を備えた店内では日田杉を使用した内装や家具に迎えられ、日田産の食器を使ったランチを小鹿田焼の食器で楽しむことができ



- ▲ 1. カフェスペース。列車の待ち時間など、少し時間がある場合は一息ついてみませんか？
- 2. 小鹿田焼のランプシェード。温もりのある暖かい色合いで部屋を照らしてくれます。
- 3. 宿泊施設としてのベッド。すぐ隣には線路があり、日頃体験できない目覚めになるかもしれません。